

IPUの「日本語教師養成」はここが違う！

大学4年 26単位修得 で 日本語教師の資格も取得

教育実習を含む必修14科目26単位をすべて学内で完結。2年次後期からスタートし、四年制大学卒業と同時に資格取得！
教員採用実績の高いIPUのノウハウで授業の上手い先生に！

異文化への
適応能力を養う

日本語の
知識を学ぶ

教育方法
教材づくり

実践トレーニング
教育実習

大学内で、実際の留学生を 相手に教育実習を実施

日本語教師の需要が特に高い、中国・ベトナムなどのアジア圏の留学生が多く在籍するIPUだからできる安心の実習体制。



平成31年度に示された 教育課程に対応済み

法務省告示の日本語教育機関で勤務することを想定し、質の高い日本語教育人材の養成が行われている証です。岡山県内の大学では、新教育課程に対応済みの大学は2校のみです。

(2021年5月20日時点／出典元：文化庁ホームページ)

「必須の教育内容」
に対応済

認定修了証を発行します！

法務省告示の日本語教育機関で働くための資格として有効です。
「4年制大学の卒業資格」＋「日本語教師養成課程修了」を求人条件に掲げる日本語教育機関が多く、国によっては現地で日本語教師として働く就労ビザになります。これは、専門学校や資格スクールにはないメリットで、活躍の場を広げ、収入にも差が出ると言われています。



全学科の学生が履修できます

※現代経営学科、教育経営学科で開講。その他の学科でも学内規定を充たし履修することが可能です。

日本で生活する海外にルーツのある人々は、増加傾向にあります。たとえば、日本国内の小学校の先生、一般企業に就職したとしても、関わる機会は十分にあると言えます。多様性への理解、私たちが話す言語への正しい理解はこれからどんな場面でも役に立ちます。

学ぶ領域・分野

社会・文化 に関わる領域

社会、文化、政策と言語との関係について学ぶ
社会的・文化的慣習について理解する

教育 に関わる領域

言語情報の処理過程や
習得過程、学習効果を高
める方略について学ぶ

言語 に関わる領域

日本語や言語を分析的に
観察する方法を理解する
日本語に関する知識を体系的に身につける

カリキュラム

全て必須科目です

2年

異文化コミュニケーション
日本語教育概論Ⅰ
日本語学Ⅰ

3年

日本語教育概論Ⅱ
日本語学Ⅱ
言語学
社会言語学
日本語教授法Ⅰ
日本語評価法

4年

日本語教授法Ⅰ
日本語教育演習Ⅰ・Ⅱ
日本語教育実習Ⅰ・Ⅱ

TEACHER'S POINT!

多文化共生社会の中で日本語というツールを使いながらお互いを理解していく方法を身につけましょう！

大平 真紀子 講師
専門領域：
日本語学 / 日本語教育



4年後に責任を持つ大学



お問合せ アドミッションセンター
TEL:086-908-0362 (直通)
Email:nk@ipu-japan.ac.jp
〒709-0863 岡山市東区瀬戸町観音寺721
IPU 検索

受験生応援サイト

大学受験を考える
高校生向けの情報を
随時更新中！



LINE IPU・環太平洋大学
最新情報を
配信中！



日本語教師養成

国内外で活躍できる日本語を教える先生

2022年
4月から
再スタート



4年後に責任を持つ大学

IPU 環太平洋大学
INTERNATIONAL PACIFIC UNIVERSITY

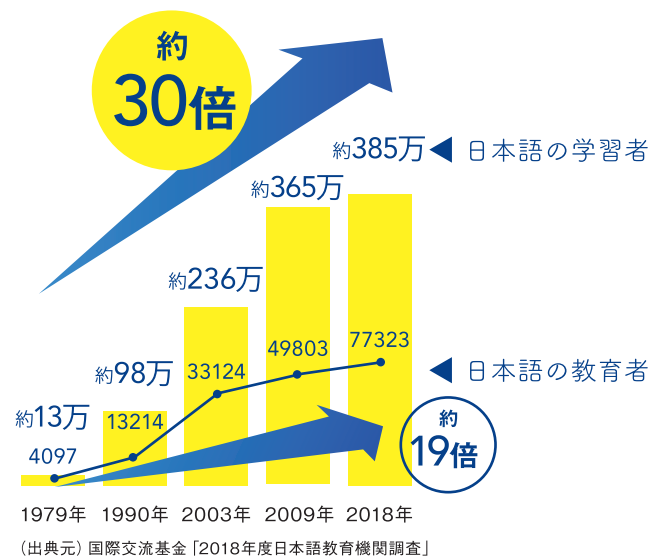
詳しくは中面で！

そもそも… 日本語教師とは？

日本語教師とは、日本語を母語としない人に対して、日本語と日本の魅力を教える専門の教員です。

高まるニーズ

2018年の調査では、過去最多の世界142の国と地域で日本語教育が実施されており、1979年からみると学習者の数は約30.3倍にも増加しています。一方で、教育者は約19倍の増加に留まっており、世界的に教員不足の状況です。



なぜ、 日本語を勉強する人が増えたのか？

その理由としては、日本のマンガやアニメの人気や、日系企業での就職を目的に、日本へ関心を持ち、日本語を学びたい、日本で働きたいと考える外国人が増えたからです。そのため、日本語学習を必要とする外国人は増加傾向にあり、これからもその需要は続くと言われています。

マンガ、アニメ、J-POP、ファッションへの興味

日本の製品、文化の人気で観光目的の訪日外国人

国内外の日系企業で働く外国人労働者

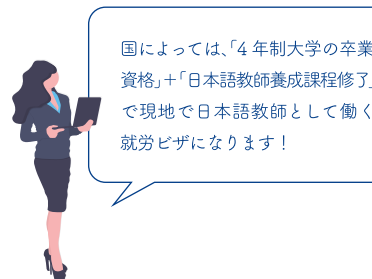
日本での就職を視野に入れた留学

東アジアや東南アジアからの留学生は特に増加



資格がないと日本語教師になれない？

2021年4月現在、教員免許や公的な資格制度としては設置されていませんが、法務省出入国在留管理庁が定める「日本語教育機関の告示基準」に記載されている条件を満たすことが、一般的に「日本語教師の資格」を有しているとされています。



国によっては、「4年制大学の卒業資格」+「日本語教師養成課程修了」で現地で日本語教師として働く就労ビザになります！

日本語教師になると どんなところで活躍できるの？

今の時代、
さまざまな場面で活躍の機会が！

- 国内・海外の大学や日本語学校
- 国内・海外での国際ボランティア
- 海外協力隊
- 外国人労働者を雇用する国内外の企業
- 国内の学校で海外にルーツのある子ども・児童・生徒へのケア

など

VOICE!

IPU・環太平洋大学から世界へ。活躍するあのヒト



馬場 千穂
Chiho Baba

卒業年 2018年3月

現在の所属 広島大学大学院人間社会科学研究科教育科学専攻国際教育開発プログラム 博士課程前期1年

日本語パートナーズやJICA青年海外協力隊など

海外への政府派遣を経験後、広島大学大学院で勉強中。

■ “日本語教師”としての活動

大学卒業後は JICA の青年海外協力隊として、インド・タミルナド州の大学に派遣され、現地で活動してきました。現地の大学では、日本語を学ぶ学習者に対する日本語指導、日本語教育の質向上に向けた教師教育、現地の公的機関や企業様との連携プログラム等、幅広く日本語教育に携わっていました。



■ この仕事をするために必要な力

言語や教授法などの日本語教師としての専門能力に加えて、自己教育力が不可欠だと思います。『自己教育力』とは、自分自身で学び続けられる、成長続けられる力のことです。自分はどんな教師で自分はどんな場所にいるのか、そして、何が 필요한のか、何が求められているのか、客観的に見つめ直し、学び、成長し続けられることが大切だと思います。とはいっても、一番大切なのは、日本語という言語、日本語教師という仕事が好きなことだと思います。これが教師としての成長にもつながると思います。

■ 今後の抱負

現在は、現地での経験や現地地身をもって感じた課題をもとに、大学院で学修を進めています。専門知識を深めながら、教師教育に関する研究に取り組んでいます。今後は、研究と実践の両面から日本語教育に携わり、先生方や学習者の皆さんの一助になりたいと考えています。



金谷将太
Shota Kanatani

卒業年 2019年3月

出身高校 広島県立庄原実業高等学校

現在の所属 愛知技術人材交流協同組合

在学中は、海外インターンシップを経験。

卒業後はベトナム、カンボジアで日本語教師に。

■ “日本語教師”に関心を持ったきっかけ

大学1年次にニュージーランドへ留学して様々な国の方と出会い、2年次で日本語教師という道を知りました。そして、日本ではない国に住める可能性があるのも惹かれました。また、私たちは普段何も考えずに言葉を話していますが、留学生から「説明して」と言われときに説明できませんでした。しかし、日本語の先生たちはそれができる、そんな姿に憧れもあったかもしれません。



■ 大学時代と大学卒業後の活動

大学では様々な人たちと交流して、異文化に触れることができました。それにより、自分の中での常識や考え方も変わっていき、人間として成長することができました。大学で出会った友人たちの国のことをもっと知りたいと思い、卒業後、すぐ海外で教えるという選択をすることができました。その後、ベトナムの日本語学校やカンボジアの送り出し機関で働き、現在は日本へ帰国して外国人技能実習生の監理団体で働いています。

■ 今後の抱負

外国人技能実習生の監理団体で働くためには、技能実習法などの法律を覚えなければなりません。また、実習生が働きながら日本語が勉強できる仕組みを、大学時代の友人と構想中です。スキルアップを図りながら今後とも日本語教師や外国人人材のサポートに貢献していきたいです。



Hoang Ngoc Bich Tran
ホアン ゴック ビック チャン

卒業年 2019年9月

出身高校 クォックホック高校 [ベトナム]

現在の所属 岡山大学院教育学研究科教育科学専攻修士課程2年 / 「SHARE&CHILL!!」(日本語学習・文化交流活動支援団体)を設立

ベトナムから留学して資格取得後、岡山大学大学院へ進学。

勉強のかたわら、日本語学習支援団体を設立。

■ 仕事をするうえで印象に残っている出来事

印象に残っている出来事はレストランでの会話に使う表現を教えた時の話です。技能実習生は仕事がいっぱい時間であるにもかかわらず、グループで友達と時間を調整し、ビデオ通話をしながら、一生懸命課題に取り組みました。学んだ表現を使うだけではなく、会話のセリフも面白く考えてくれました。学習者たちの努力する姿を見るたびに感動し、この仕事のやりがいも実感できました。私自身も先生の立場ではなく、学習者から新しい考え方、努力の姿を多く学べたし、より良い授業を作れるよう頑張らないといけないと思いました。



■ この仕事をするために必要な力

日本語母語話者ではない私にとっては、日本語能力が一番大切です。語彙と文法の知識をしっかりと理解しないと正しく伝えられません。次に大切なのは教育の基本的な知識と日本語教育の知識です。大学時代はこれらを勉強し、実際に日本語の授業を留学生に行う日本語教育実習もしました。学生役の留学生や授業を参観した先生方からフィードバックをもらったのは非常に貴重な経験でした。また、学習者へのサポートも日本語教師の仕事の一つで、学習者と向き合う力、コミュニケーション能力が欠かせないものです。

■ 今後の抱負

現在日本語教育と市民性教育の繋がりに関して研究しながら、技能実習生の日本語学習支援と日本人市民との交流活動の支援をしています。大学院では市民性形成を目指す日本語教育のあり方や具体的なカリキュラムを明らかにし、現在のクラスで効果を検証・改善し、日本語教育現場に提案していきたいと思っています。